

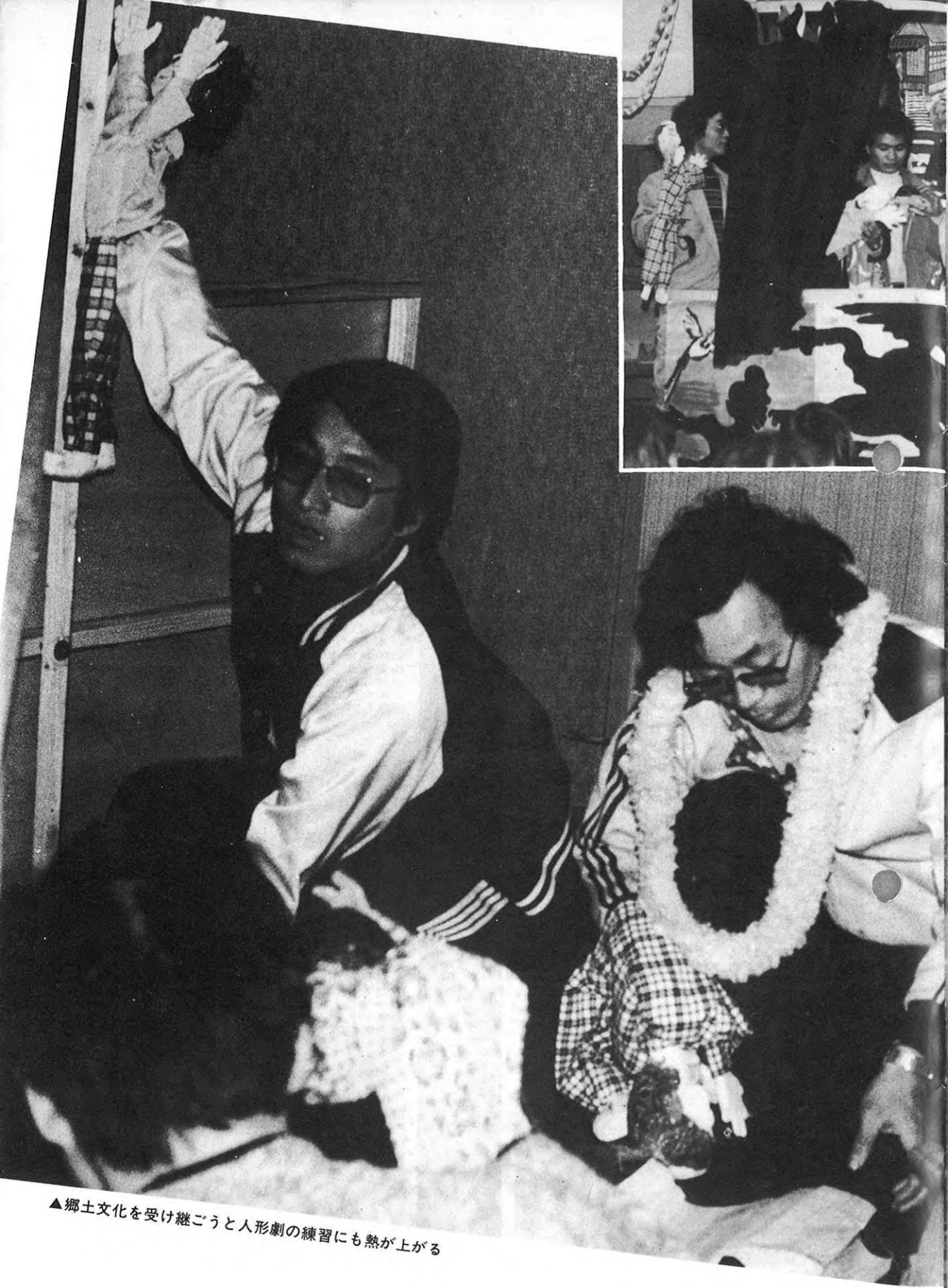
郷土づくりへの参加

津奈木町青年団の場合

芦北郡津奈木町千代支部青年団では活動の一環として、昭和四十九年からこの地に伝わる「孝女千代」を人形劇に取り入れ、機会あるごとに各地において公演している。

この歴史的由来、地域文化を郷土の青少年だけにとどまらず、県内はもちろん、全国の若者たちに、親、祖父母を大切にすることを新しく見直し、この孝徳を末永く受け継いでいこうということで人形劇はつくられた。

人形の製作も各団員が行い、その個性が人形に表われる。練習は夜半を過ぎることしばしばあり、婦人会が夜食の差し入れもする。「これからの担い手である青少年、子供の頃の思い出でもある老友会等、色々な所で公演し、津奈木町の美しい話をこれからも伝えていきたい」と竹田慎一団長は夢をふくらませる。



▲郷土文化を受け継ごうと人形劇の練習にも熱が上がる